

# 非鉄金属市況と需給動向

2022年8月（銅、亜鉛、ニッケル、金・白金族）

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

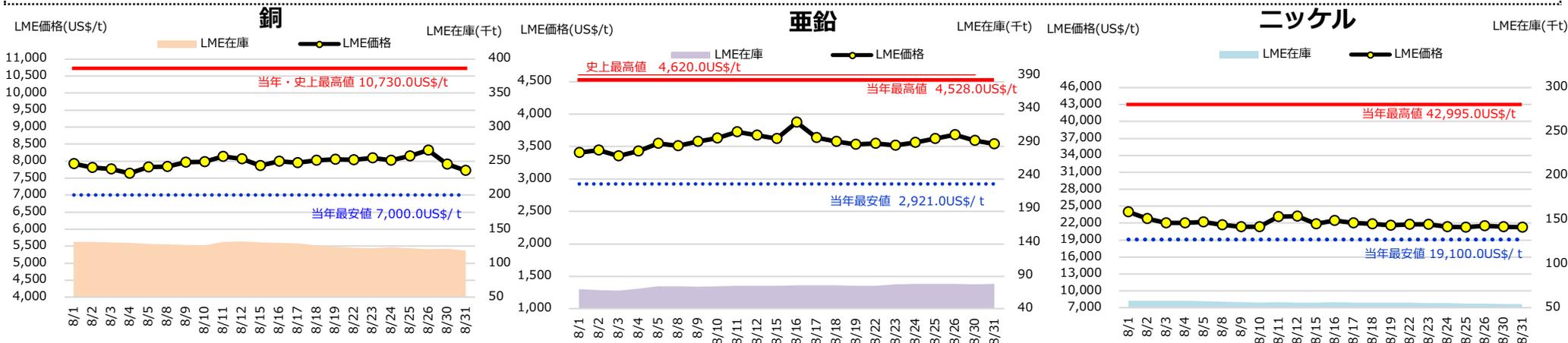
おことわり: 本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用である旨を明示してくださいようお願い申し上げます。

# ベースメタル市況動向

各国中銀利上げへの警戒と低迷する中国等の経済後退による需要懸念が、依然価格の抑制要因に

## ■ 8月市況動向

- ① **銅、米国の利上げ緩和により上昇するも、利上げ継続見込みから月末に下落**：当月、銅は7,930.5US\$/tでスタート。2日、Pelosi米下院議長が台湾を訪問したことによる米中関係の悪化が警戒され、月初の価格は下落した。中国において、2022年GDP目標達成が断念されるなど経済の弱さが浮き彫りになり、需要減退が懸念されたことも重しとなった。月中は、米国の経済回復による需要拡大期待から上昇傾向が見られた。5日、7月米非農業部門雇用者数が予想の倍となり、景気悪化懸念が和らいだ。加えて11日、消費者物価指数（CPI）・生産物価指数（PPI）が市場予測を下回るなどインフレ鈍化が見込まれ、米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的利上げ予測が後退した。一方、中国で、建設部門・不動産市場が低迷しているほか、7月鉱工業生産指数の伸びが鈍化し、中国需要減退の見込みが価格を抑圧した。月末、ジャクソンホール会議で、FRBが経済を犠牲にしてもインフレが抑制されるまで利上げを続ける姿勢を示し、価格は急落した。対ユーロで等価を上回るなど記録的な米ドル高と、中国でコロナウイルス規制が再強化されたことも影響し、最終的には月初を下回る7,721US\$/tで越月した。
- ② **亜鉛、蘭Budel製錬所が操業停止発表など供給逼迫懸念が価格を下支え**：当月、亜鉛は3,405.5US\$/tでスタート。ロシアのウクライナ侵攻などを背景とする欧州の電力高などによる地金生産量減少懸念から、月初の価格は上昇傾向にあった。16日、Nyrstar社のオランダBudel製錬所が、電力高により9月1日から操業停止する見通しを明らかにして、価格は一時7%増と急騰した。月を通して世界経済減速が圧力となっていたが、供給逼迫感が価格を下支えしたことで、月末は3,540.0US\$/tと月初を上回った価格で終えた。
- ③ **ニッケル、需給関連材料による価格への影響は限定的、マクロ経済減退による需要懸念により下落傾向**：月初、インドネシア政府の2022年第3四半期ニッケル輸出税制関連報道があり、対前日比9%上昇し24,025US\$/tでスタート。上旬は、中国需要の減退が価格を圧迫したが、11日、米国利上げ緩和見込みにより価格は反発した。22日、インドネシア政府が年内にもニッケル輸出関税をかけると発表し、供給懸念が浮上した。また26日、米CA州で2035年から化石燃料車の新車販売が禁止されると発表されたことを始めとする米国内のEV転換の動きにより、電池向け需要が増加するという見方が広まった。これらによりどちらも小幅な価格上昇は見られたが、マクロ経済減退による需要懸念から大きな価格変化動向にはつながらず、21,255.0US\$/tに下落して月末を迎えた。



# 需給動向 -銅-

## 2022年6月の鉱石生産量、地金生産・消費量はほぼ横ばい、需給バランスは4か月連続の供給不足に

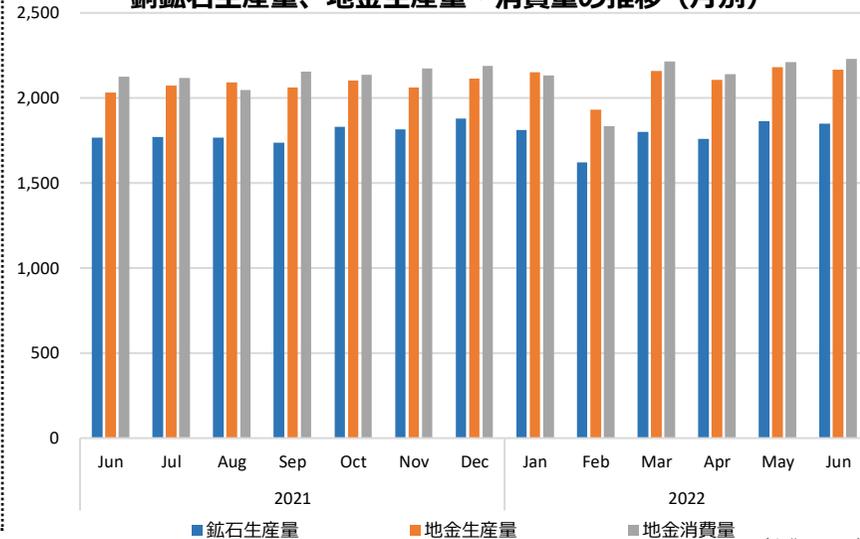
### ■ 需給動向 (8月発表分)

- ① **2022年6月銅鉱石生産量、ほぼ横ばい**：国際銅研究会（ICSG）2022年8月発表データによると、2022年6月の銅鉱石生産量は1,846.0kt（対前月比0.8%減、15.0kt減）と対前月比でほぼ横ばいとなった。中国、ペルーは増産したが、チリの減産で相殺された。
- ② **2022年6月地金需給バランス、4か月連続の供給不足に**：2022年6月の地金生産量は2,165.0kt（対前月比0.7%減、15.0kt減）、地金消費量は2,230.0kt（対前月比1.0%増、21.0kt増）で**66ktの供給不足**となった。中国で、地金生産量・消費量は増加した。一方、その他各国では大きい変化幅は見られず、生産・消費量ともに前月比で横ばいとなった。
- ③ **2022年1～6月地金需給バランスも供給不足に**：ICSGによると、1～6月の地金需給バランスは**72ktの供給不足**となった。地金消費量は、中国において、正味輸入量が7か月ぶりの高水準に達するなど、大幅に増加した。地金生産量はチリ・日本が前年同期比減となったが、中国・DRコンゴでそれぞれ2.7%、20%増加し、前年同期需給バランス（130kt供給不足）に比べ、不足幅は縮小した。

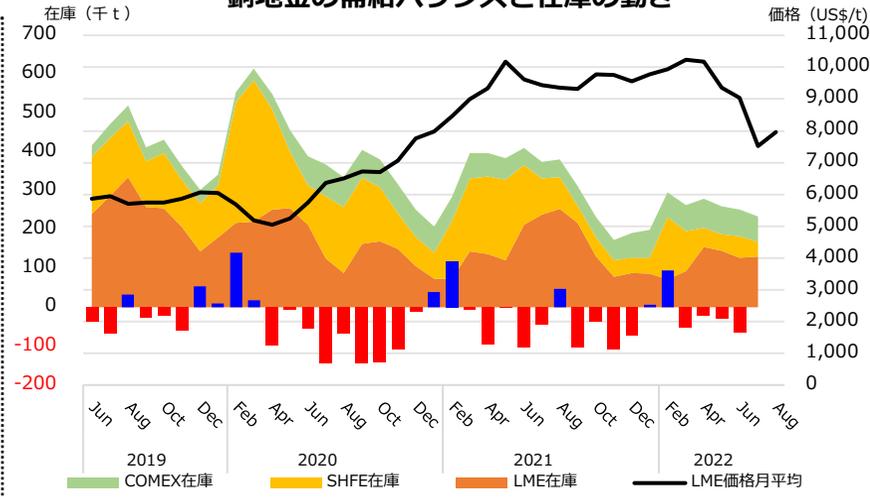
### ■ 企業動向

- ① **Operadores Concentrados Peruanos社（ペルー）**：Doe Run Peru社からCobriza銅鉱山を19.7mUS\$で落札（1日）。
- ② **Newcrest Mining（豪）**：通気シャフト不具合により、NSW州Cadia金・銅鉱山を2022年7月22日から採掘停止（9日）。シャフト修理完了により、13日から操業再開（23日）。
- ③ **BHP（豪・英）**：OZ Minerals社に総額8.3bA\$の買収を提案するも、OZ Minerals社は拒否（15日）。
- ④ **MMG社（ペルー）**：Apurimac州Fuerabambaコミュニティが設立したLlallawa de Fuerabamba社と、精銅輸送委託契約を締結（22日）。
- ⑤ **Nevada Copper社（加）**：NV州Pumpkin Hollow銅鉱山の再開計画を発表（30日）。
- ⑥ **Daye Nonferrous Metals社（中）**：double-flash製錬所、9月中旬から操業開始（30日）。
- ⑦ **CODELCO（チリ）**：2022年銅生産量見通しを1,490～1,510ktに下方修正（31日）。

(単位：千t) 銅鉱石生産量、地金生産量・消費量の推移 (月別)



需給バランス・在庫 (千t) 銅地金の需給バランスと在庫の動き



※需給バランスのデータは、公表されている2022年6月まで反映。(出典：ICSG)

# 需給動向 -亜鉛-

## 2022年6月鉛石生産量は中国で増加、地金は生産量・供給量ともに横ばいで2か月連続の供給不足に

### ■需給動向（8月発表分）

- ① **2022年6月鉛石生産量は増加**：国際鉛亜鉛研究会（ILZSG）2022年8月発表データによると、2022年6月の鉛石生産量は1,095.8kt（対前月比2.6%増、28.0kt増）と対前月比で増加した。中国が対前月比7.3%増と、最大の増加要因となった。
- ② **2022年6月需給バランスは2か月連続で供給不足**：2022年6月の地金生産量は1,132.0kt（対前月比0.9%増、10.2kt増）、地金消費量は1,133.4kt（対前月比0.9%増、9.7kt増）で**1.4ktの供給不足**となった。地金生産量は、中国・日本で微増した。消費量は、ドイツ・中国・フランス・インド・日本・米国で増加したが、タイ・ブラジル・イタリアの減少に相殺された。
- ③ **2022年1～6月需給バランスは供給過剰**：ILZSGによると、2022年1～6月の亜鉛地金需給バランスは、**27ktの供給過剰**となった。対前年同期比で生産量・消費量ともに減少したが、消費量の減少幅が生産量の減少幅を上回った。生産量は、欧州各国が電力価格上昇を背景に減少したほか、中国・ブラジル・カナダ・カザフスタン・メキシコなども前年同期を下回った。消費量は、韓国・台湾・米国などで増加したが、ブラジル・中国・フランス・ドイツ・日本・タイ・ウクライナなどで減少した。

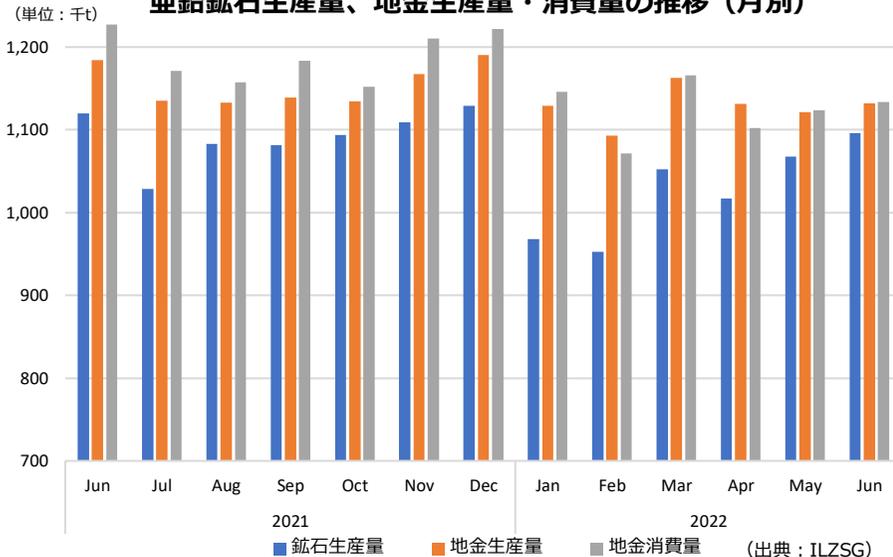
### ■関連動向

- ① **世界の自動車生産台数**：各種報道によると、2022年7月は6,788.7千台で、対前月（7,368.0千台）比で7.9%減少した。米国および欧州各国の減産が影響した。
- ② **日本の亜鉛めっき鋼板生産量**：（一社）日本鉄鋼連盟によると、2022年6月は630千tで、対前月（673千t）比で6.4%減少した。

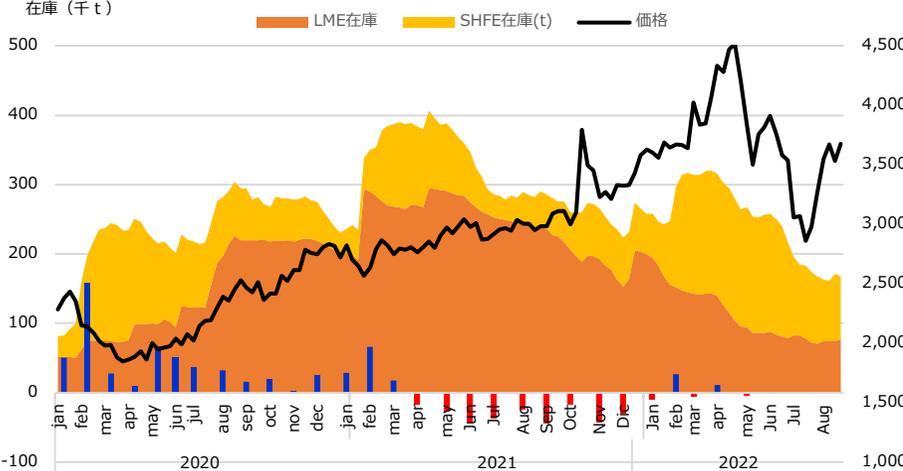
### ■企業動向・その他

- ① **Zhongfu Industrial社（中）**：熱波に対する電力逼迫のため、一部製錬所が操業停止（15日）。
- ② **Nyrstar社（伯）**：蘭Budel精錬所、電力コスト増加を受けて9月1日から操業停止と発表（16日）。
- ③ **Boliden社（典）**：ノルウェー労働者のストライキがOdda製錬所の生産に影響、欧州への亜鉛の出荷を停止（23日）。

亜鉛鉛石生産量、地金生産量・消費量の推移（月別）



亜鉛地金の需給バランスと在庫の動き (単位: US\$/t)



※需給バランスのデータは、公表されている2022年6月まで反映。

# 需給動向 - ニッケル -

前月に引き続き需給バランスは供給過剰、中国、インドネシア、ニューカレドニアの生産が前月比増

## ■ 需給動向（8月発表分）

- ① **プライマリーニッケル6月需給バランス**：国際ニッケル研究会（INSG）2022年8月発表データによると、2022年6月の世界ニッケル需給バランスは**20.5千tの供給過剰**となった。
- ② **プライマリーニッケル2022年1～6月需給バランス**：INSGによると、2022年1～6月プライマリーニッケル生産量は1,425.5千t、消費量は1,394.7千tで**30.8千tの供給過剰**となった。
- ③ **2022年6月のプライマリーニッケル生産状況**：INSGの国別データによると、主要生産国のうち、中国、インドネシア、ニューカレドニアでそれぞれ対前月比11.1%増、1.5%増、26.8%増となった。

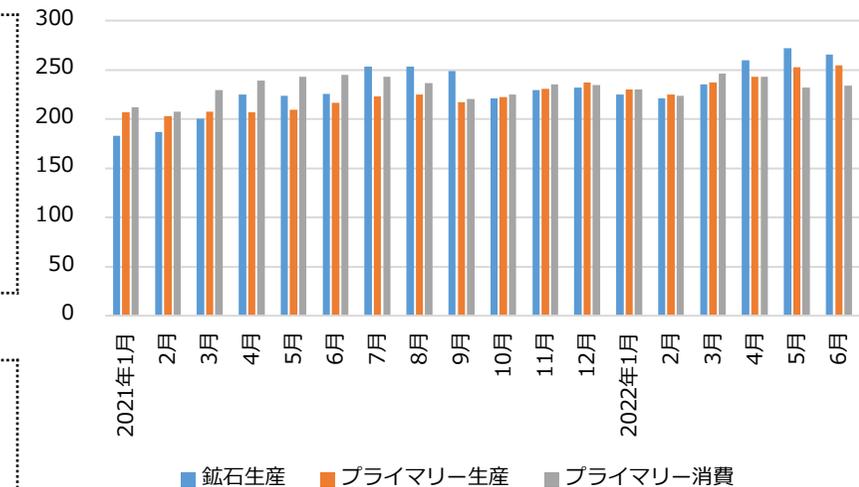
## ■ 関連動向

- ① **米Tesla社、電池材料を購入する5bUS\$の契約に合意**：尼中部Sulawesi州Morowaliで操業するニッケル加工会社から、5年間バッテリー原料を購入する契約に合意。（9日）
- ② **LME、英国倉庫のロシア産ニッケル銘柄のワラントを停止**：英国政府がロシア産ニッケルの輸入に35%の追加関税を課す発表を行ったことを受け、LMEは、ロシアからの輸出日が2022年7月20日以前であることを証明できない限り、英国のLME登録倉庫におけるロシア産ニッケル銘柄のワラントを即時停止したと発表。（16日）
- ③ **尼、鉱業ロイヤルティ率を改定**：2022年政令第26号により、品位1.5%未満のニッケル鉱石には、新たに販売価格の2%のロイヤルティが課せられることとなった。（20日）

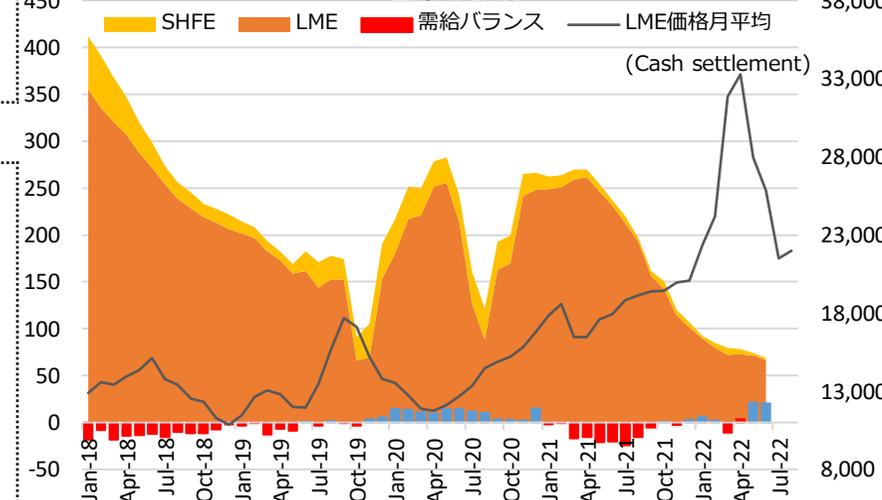
## ■ 企業動向

- ① **BHP（豪・英）/Nickel West社（豪）**：電気自動車（EV）の普及に伴う需要拡大から、Nickel West社によるWA州のNi探鉱の規模を拡大。Nickel West社が2022年にWA州で行うNi探鉱の費用は2005年以来の最高水準となる見通し。（3日）
- ② **OZ Minerals社（豪）**：BHPによる買収金額8.3bA\$の提案を拒否。同社は、SA州のProminent Hill、Carrapateenaの2銅・金鉱山を操業するほか、WA州West Musgrave銅・ニッケルプロジェクトなどを行う。なお、West Musgraveプロジェクトは、WA州政府から採掘認可を取得した段階。（8日、15日）
- ③ **PT Antam（尼）**：PT Sumberdaya Arindo及びPT Nusa Karya Arindoを分社化することで株主の承認を得た。（24日）

（単位：千t） 鉱石生産量・プライマリーニッケルの生産量と消費量



需給バランス・プライマリーニッケル需給バランスと在庫の動き

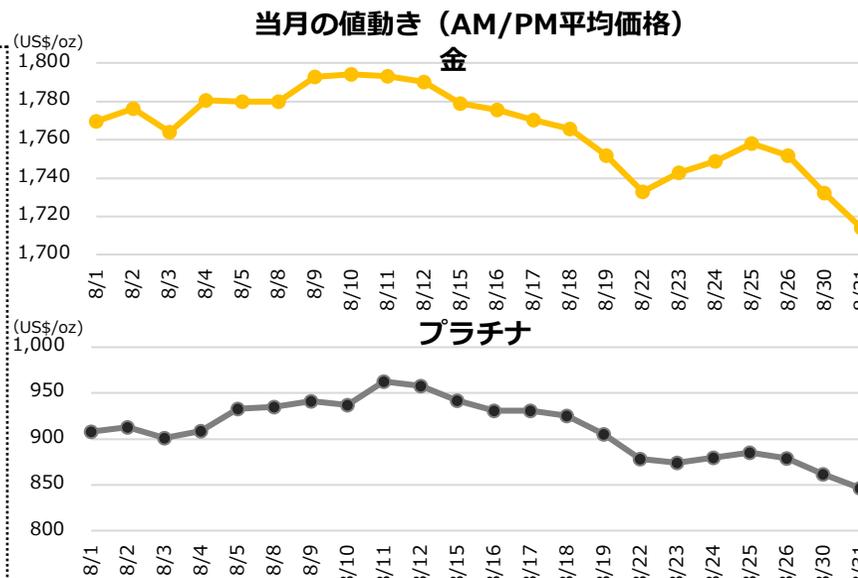


# 需給動向 -金・白金族-

金、米ドル・ユーロのパリティ割込みや米の利上げ継続で下落、白金族は露宇情勢懸念も安値圏継続

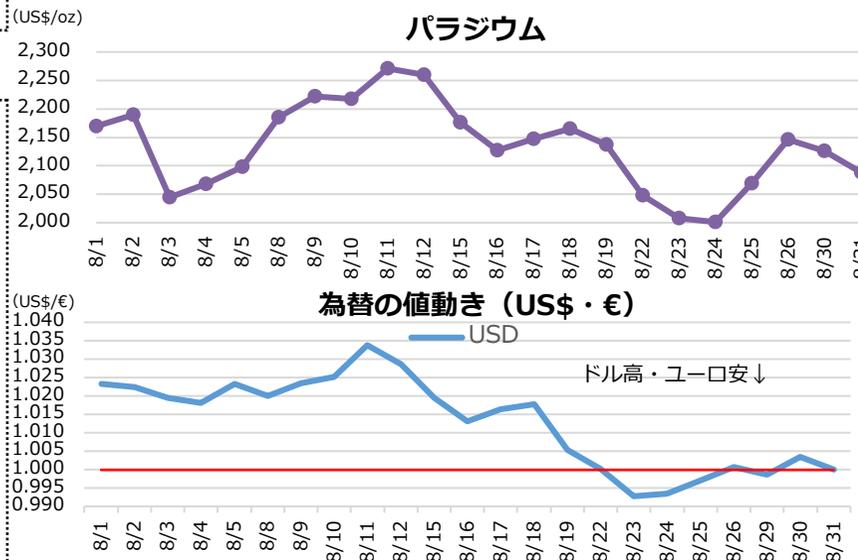
## ■金市況動向

- ① **米中関係悪化懸念や弱い米経済指標で上昇基調**：当月1,769.6US\$/ozでスタート。2日、米Pelosi下院議長が訪台、これに抗議する中国が翌3日から台湾周辺で軍事演習を開始したことで、米中関係悪化リスクへの懸念から4日上昇した。10日発表の米消費者物価指数が対前月比0.0%との弱材料から当月最高値の1,794.3US\$/ozをつけ、翌11日発表の生産者物価指数も対前月比0.5%減となったことで米大幅利上げ観測が後退し、高値を継続した。
- ② **ユーロがパリティ割り込み、米利上げ継続姿勢で下落**：15日発表の中国の小売売上高、鉱工業生産指数がそれぞれ予想を下回る2.7%、3.8%と低水準だったことを受け、中国での需要懸念等から15日の週は下落基調に転じた。更に17日発表の英消費者物価指数が対前月比10.1%増と40年ぶりの大きさとなり、下落基調を助長した。19日、露国営Gazprom社が欧州に天然ガスを供給するパイプラインNord Stream 1のガス供給を月末から一時停止すると発表する等、欧州のエネルギー不安が払拭されない中、22日、ユーロがドルに対し一時パリティを割り込んだこと等を受け、22日1,733.0US\$/ozまで急落した。翌23日は、同日発表の米製造業PMIが51.3と予想(51.8)や前月(52.2)を下回ったこと等から上昇に転じたが、26日、米連邦準備制度理事会(FRB)のPowell議長が高インフレ抑制策を継続との立場を示したことで再び下落に転じ、当月最安値の1,714.2US\$/ozで越月した。



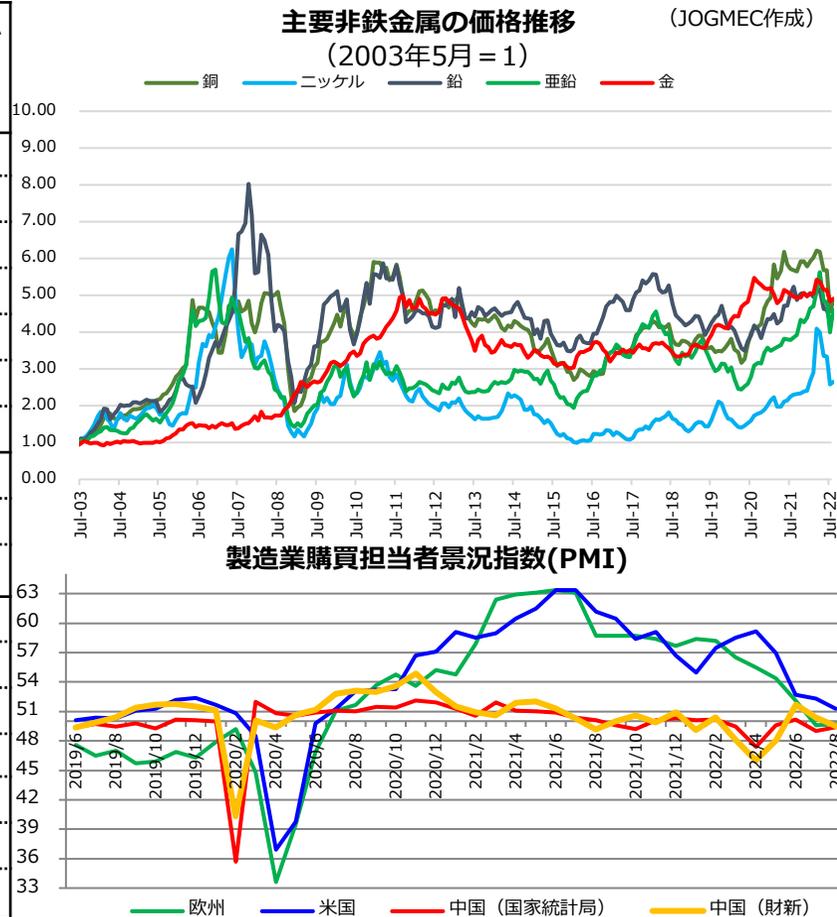
## ■白金族 (PGM)

- ① **プラチナ市況**：当月908.0US\$/ozでスタート、当月は金とほぼ連動する値動きとなり、11日、当月最高値962.5US\$/ozをつけ、当月最安値の846.5US\$/ozで越月した。
- ② **パラジウム市況**：当月2,170.0US\$/ozでスタート。7月31日、露Putin大統領が北極圏や黒海等における海洋戦略「海洋ドクトリン」改訂を承認したことで西側諸国との対立姿勢が一層鮮明となり、高値で越月したが、3日、露Norilsk社が需給バランスは取れていると発表、供給過剰も意識され、対前日比150US\$/oz近く急落した。その後は景気悪化懸念の後退、産業用需要回復への期待感から上昇し、11日、当月最高値の2,271.0US\$/ozをつけた。翌週はウクライナからの小麦やトモロコシ輸出再開を背景にNY原油先物下落等につられて下落に転じた。需給関連の新規材料に欠く中、24日に当月最安値の2,001.5US\$/ozをつけ、2,088.0US\$/ozで越月した。
- ③ **Anglo American Platinum (Amplats) 社 (南ア)**：JVパートナーの南ア Atlatsa Resources社とともにBokoni PGM鉱山の売却を完了。(12日)



# (参考)

		銅	亜鉛	ニッケル	金	プラチナ	パラジウム
		LME現物	LME現物	LME現物	AM・PM平均	AM・PM平均	AM・PM平均
		(US\$/t)	(US\$/t)	(US\$/t)	(US\$/oz)	(US\$/oz)	(US\$/oz)
本報告期	期初	7,930.5	3,405.5	24,025.0	1,769.6	908.0	2,170.0
	期末	7,721.0	3,540.0	21,255.0	1,714.2	846.5	2,088.0
	最高値	8,315.0	3,877.0	24,025.0	1,794.3	962.5	2,271.0
		8月26日	8月16日	8月1日	8月10日	8月11日	8月11日
	最安値	7,642.0	3,355.0	21,250.0	1,714.2	846.5	2,001.5
		8月4日	8月3日	8月25日	8月31日	8月31日	8月24日
	平均	7,961.0	3,572.9	21,997.7	1,765.6	910.8	2,134.9
先物 (8月30日)	3か月	7,876.0	3,500.0	21,425.0	-	-	-
	Dec 23	7,835.0	3,103.0	21,860.0	-	-	-
	Dec 24	7,805.0	2,793.0	22,130.0	-	-	-
2022年 (当年)	期初	9,660.0	3,602.0	20,730.0	1,810.3	969.0	1,881.0
	期末	7,721.5	3,540.0	21,255.0	1,714.2	846.5	2,088.0
	最高値	10,730.0	4,528.0	42,995.0	2,023.0	1,150.0	3,177.0
		3月7日	4月19日	3月7日	3月8日	3月8日	3月7日
	最安値	7,000.0	2,921.0	19,100.0	1,695.8	834.0	1,816.5
		7月15日	7月15日	7月15日	7月21日	7月14日	6月14日
	平均	9,240.0	3,704.9	26,134.0	1,842.7	968.1	2,174.7



米国経済	8月の製造業PMI (IHS Markit社発表) は51.3 (前月: 52.2、予測: 52.0) と、前月からやや下落した。8月非農業部門雇用者数は前月比31.5万人増 (前月: 52.6万人増、予測: 29.8万人増) と、前月を下回った。失業率は3.7% (前月: 3.5%、予測: 3.5%) と、前月を上回った。
中国経済	8月製造業PMIについて、国家統計局発表は49.4 (前月: 49.0、予測: 49.2)、財新発表は49.5 (前月: 50.4、予測: 50.0) と、前月からほぼ横ばいに推移した。
欧州経済	8月製造業PMIは49.7 (前月: 49.6、予測: 49.0) と、前月からほぼ横ばいに推移した。